



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 シャルレ

コード番号 9885 URL <http://www.charle.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 奥平 和良

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートサービス部長

(氏名) 高田 博祐

TEL 078-792-8565

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	3,521	—	△104	—	△93	—	△96	—
26年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△5.03	—
26年3月期第1四半期	—	—

※当社は、平成26年3月期第1四半期は連結財務諸表を開示しておりましたが、当第1四半期より非連結の業績を開示しております。そのため、平成26年3月期第1四半期の経営成績(累計)および対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%			円 銭	
27年3月期第1四半期	22,355	—	19,384	—	86.7		1,011.41	
26年3月期	24,073	—	19,859	—	82.5		1,036.19	

(参考)自己資本 27年3月期第1四半期 19,384百万円 26年3月期 19,859百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,800	—	80	—	100	—	50	—	2.61
通期	19,000	△8.4	400	△62.2	450	△58.7	220	△44.5	11.48

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	21,034,950 株	26年3月期	21,034,950 株
27年3月期1Q	1,869,217 株	26年3月期	1,869,217 株
27年3月期1Q	19,165,733 株	26年3月期1Q	19,165,898 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う需要の反動により、個人消費の低迷が見られましたが、企業収益や雇用情勢の改善により、景気の緩やかな回復基調が見られました。

このような経営環境のもと、当社は「女性を元気にする日本一のグループ」をめざして、美と健康の事業領域を中心に、他社との差別化を図れる独自性のあるシャルレらしい「もの」や、喜びや感動を与える「こと」の提供を追求してまいりました。また、生涯を通じていきいきと輝いている「ひと」をサポートするため、女性たちに活躍の機会を提供し、地域を活性化することによって、豊かな社会の実現をめざしてまいりました。

レディースインナー等販売事業は、販売組織の再活性化に積極的に取り組みました。従来どおり「美と健康のシャルレ」として、健康関連分野の商品や化粧品類等、機能性が高く、かつ独自性のある商品の開発・提供をより一層強化するとともに、次世代を担うビジネスメンバーの育成や、新たなターゲット層への商品開発等にも積極的に取り組んでまいりました。

商品面におきましては、4月にウォーキング等の軽運動に適した商品として「サポートウォーク」のウエアとボトムや、吸汗速乾性や吸放湿性に優れた清涼インナー「デイリークール」を発売いたしました。また、5月には、前期にリニューアル発売いたしました定番ファンデーションとインナーの「ドゥヴァンナシリーズ」に、定番色のカラーを追加発売し、繊維系商品のアイテムの拡充を図りました。

繊維系商品や化粧品類に次ぐ新たな商材として、健康食品を5月より発売いたしました。当社オリジナルの健康食品「ns(エヌエス)」は、女性の健康サポートをコンセプトに、自然(ナチュラル)と科学(サイエンス)が融合した健康食品の新ブランドです。その第一弾として発売いたしました「エナジン ウォーマー」は、機能性成分として十数種類ものフラボノイド類を含む黒ショウガや発酵黒タマネギ等を用いており、2014年モンド・セレクションに出品し、ダイエット・健康製品部門で金賞を受賞いたしました。

化粧品類につきましては、30代から40代の新たなお客様に向けた商品として、4月に親子で使用可能な日やけ止め乳液「マイルドUVミルク」を発売いたしました。低刺激で肌に優しい設計であり、肌が敏感な方への紫外線対策として高評価を得ました。

営業施策面におきましては、4月に全代理店を対象とした「第31回シャルレ代理店セミナー」を開催し、中期経営方針や各種施策の共有化を図るとともに、代理店との一体感を醸成し、活動意欲の向上に結びました。また、代理店の育成と販売活動の両面を促進する策として、新たなボーナス制度の導入や、強い組織の構築と顧客単価の向上を目的に、教育や研修も積極的に実施してまいりました。

以上のように積極的な商品開発や営業施策を行ってまいりましたが、ファンデーションやインナー、基礎化粧品などの定番商品を中心に消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による落ち込みがあったこと、またアウト類の新商品が販売不振で推移したこと等により、売上高が減少いたしました。

これらの結果、当第1四半期累計期間における当社の売上高は35億21百万円(前年同四半期比23.3%減)、営業損失は1億4百万円(前年同四半期は1億46百万円の営業利益)、経常損失は93百万円(前年同四半期は1億53百万円の経常利益)、四半期純損失は96百万円(前年同四半期比126.9%増)となりました。

なお、当社は前第1四半期連結累計期間では四半期連結財務諸表を作成しておりましたが、前連結会計年度において連結子会社「香羅奈(上海)国際貿易有限公司」の営業を終了したため、当事業年度より連結財務諸表非作成会社となりました。したがって、当第1四半期累計期間より四半期財務諸表を作成しているため、前年同期間との比較は参考数値であります。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、現金及び預金の減少13億13百万円、有価証券の減少1億39百万円、商品の減少1億24百万円等により前事業年度末に比べ17億18百万円減少して223億55百万円となりました。

負債は、買掛金の減少2億40百万円、未払金の減少7億25百万円等により、前事業年度末に比べ12億43百万円減少して29億71百万円となりました。

純資産は、四半期純損失96百万円、利益配当金2億87百万円等により、前事業年度末と比較して4億75百万円減少して193億84百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前事業年度末の82.5%から86.7%に上昇しました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間の業績の動向等を踏まえ、平成26年5月13日の決算発表時に公表した平成27年3月期第2四半期累計期間の業績予想を修正することといたしました。

なお、平成27年3月期通期の業績予想につきましては、変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）および「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期会計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期会計期間の期首の退職給付引当金が30百万円増加、前払年金費用が87百万円減少し、利益剰余金が118百万円減少しております。また、当第1四半期累計期間の営業損失、経常損失および税引前四半期純損失はそれぞれ0百万円増加しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,096	7,782
売掛金	150	110
有価証券	2,661	2,521
商品	3,698	3,574
貯蔵品	26	26
繰延税金資産	411	411
その他	525	479
貸倒引当金	△47	△50
流動資産合計	16,520	14,854
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,254	1,237
土地	907	907
その他（純額）	415	382
有形固定資産合計	2,577	2,527
無形固定資産		
ソフトウェア	832	816
その他	18	19
無形固定資産合計	851	836
投資その他の資産		
投資有価証券	2,551	2,578
前払年金費用	673	596
繰延税金資産	379	379
その他	542	604
貸倒引当金	△23	△22
投資その他の資産合計	4,123	4,135
固定資産合計	7,552	7,500
資産合計	24,073	22,355

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	885	645
未払金	1,583	857
未払法人税等	215	11
賞与引当金	306	87
その他	360	520
流動負債合計	3,351	2,122
固定負債		
売上割戻引当金	213	214
退職給付引当金	417	416
その他	231	218
固定負債合計	862	848
負債合計	4,214	2,971
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,600	3,600
資本剰余金	4,897	4,897
利益剰余金	12,726	12,224
自己株式	△1,295	△1,295
株主資本合計	19,929	19,426
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△69	△42
評価・換算差額等合計	△69	△42
純資産合計	19,859	19,384
負債純資産合計	24,073	22,355

(2) 四半期損益計算書

(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	3,521
売上原価	1,841
売上総利益	1,679
販売費及び一般管理費	1,784
営業損失(△)	△104
営業外収益	
受取利息	1
有価証券利息	6
受取配当金	0
雑収入	4
営業外収益合計	12
営業外費用	
支払利息	0
雑損失	0
営業外費用合計	1
経常損失(△)	△93
特別損失	
固定資産除却損	0
特別損失合計	0
税引前四半期純損失(△)	△93
法人税、住民税及び事業税	2
法人税等合計	2
四半期純損失(△)	△96

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、レディースインナー等販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。